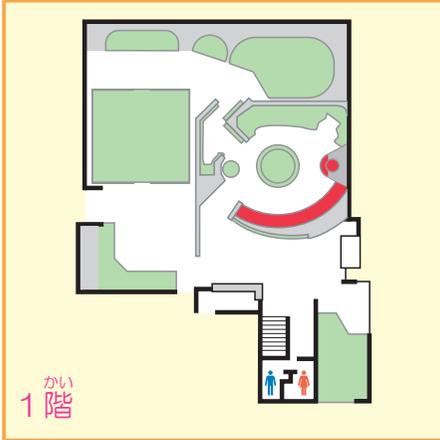


かわ くらしと川

この場所で見られます

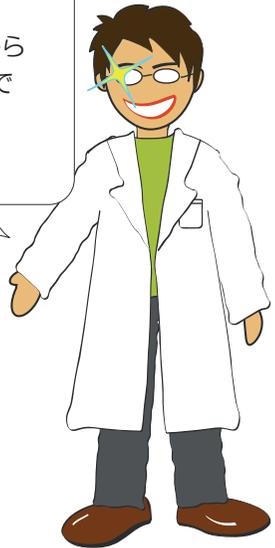


(コーナーの名まえ)

- 相模川のめぐみ
- くらしと金目川

相模川はむかし、交通路でもありました。高瀬船に炭や薪や材木をのせ、上流から平塚の須賀みなとまで運びました。帰りは、米や塩をのせ、帆に風を受けて上流の村まで戻りました。また、アユやウナギといった魚がたくさんいたので、漁も盛んでした。

高瀬舟は南風を帆に受けて川をさかのぼるんだ。帆を張ると、河口の須賀から上流の城山町まで、半日でもどれたんだって。風のかってすごいね。



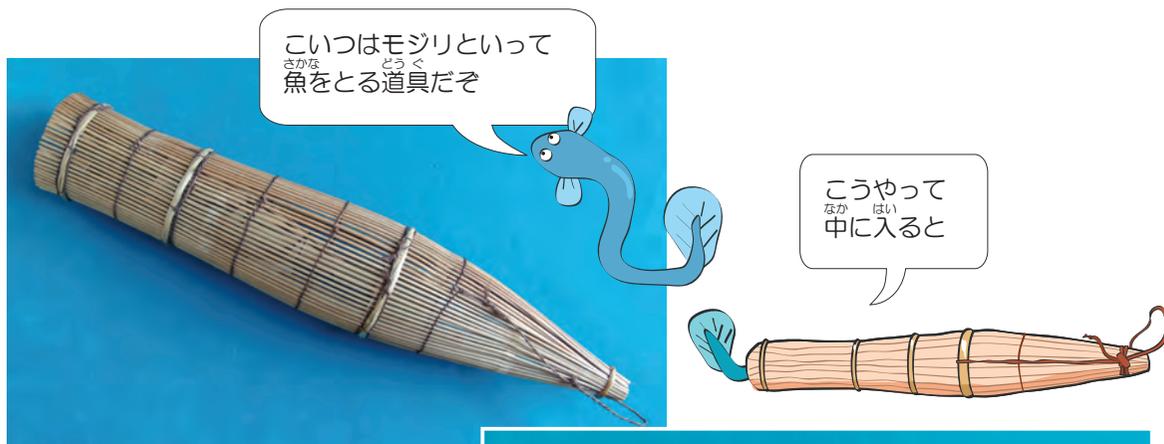
高瀬舟



金目川は、農家にとって大切な川です。たくさんの田んぼが、金目川の水を使っているからです。日照りが続くと、むかしは水争いおきることがありました。逆に、大雨が降ると、土手が切れて田んぼが水びたしになることもありました。

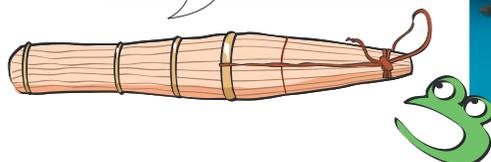
金目川(東雲橋より)





ウナギモジリ

なか
中のくしのようなところに
ひっかかって
でられなくなるんだ。
うわっ、でられない！



モジリの中のようす

かわ
川をのぼってくる さかな
魚をねらって、いりぐち かわしち
む
入口を川下に向けてしかけたんだ。
ミミズやタニシなどをエサにして、においでさそいこむんだよ。



ミッション3

かなめ がわ
金目川にはたくさんの取水堰があり、用水路に水を取り入れています。水は、用
すいろ
水路からあちこちの田んぼに入り、最後は排水路を^{はい}通^{さいご}って川にもどります。ただし
そのときに、はじめの川とちがうこともあります。

つぎ しゅすいげき とり い みず さいご かわ なが
さて、次の取水堰から取り入れた水は、最後はどの川に流れるでしょう？

かなめ がわすいけい しゅすいげき すいでん ちす み こた
「金目川水系の取水堰と水田」の地図をよく見て答えてね。

- (1) イチノザシの堰 金目川 → () 川
- (2) 青柳堰 金目川 → () 川
- (3) 藤間堰 金目川 → () 川
- (4) 広川堰 金目川 → 河内川 → () 川